

ほけんだより3月

平成31年3月4日
 横浜市立平沼小学校
 校長 長谷川絹子
 養護教諭 遠藤 梨那
 家庭数

川のほとりの花々のつぼみがようやくほころび始めました。花が咲く様子は子どもたちの成長と重なるものがあります。寒くて厳しい冬に耐えたからこそ美しい花が咲くように、試練を乗り越えることによって立派に成長していきます。子どもたちの素敵な姿がたくさん見られます。

さて、2月は第2回学校保健委員会がありました。本校のスクールカウンセラーである田中ひろと先生と学校薬剤師の森田真紀子先生（中央調剤薬局）をお迎えして、今年度の「相手の気持ちを考えてポカポカ言葉をつかおう」についてのふりかえりをし、子どもたちの今までの取組や成果を知ることができました。田中先生からは、心がポカポカだと脳から幸せホルモンがいっぱい出るといふこと。森田先生からは、毎日の生活の中でポカポカ言葉が活かされていて、地域の方から平沼小の子どもにポカポカ言葉を言われて



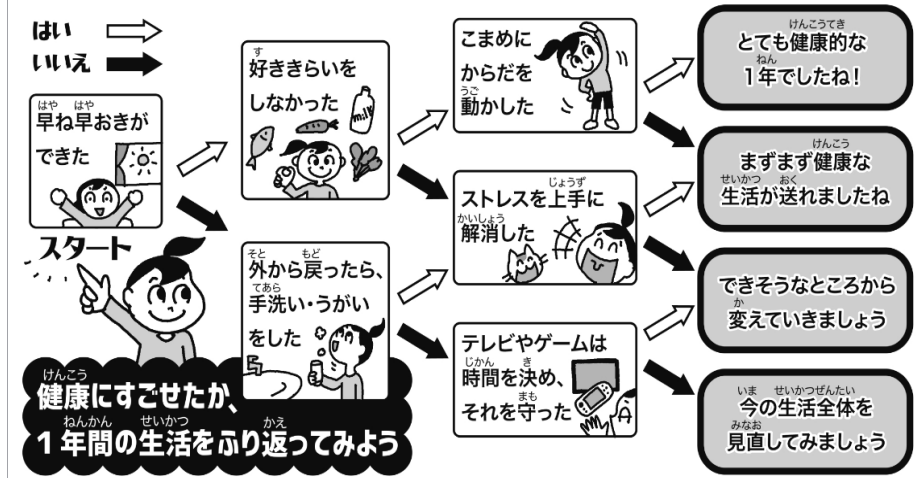
うれしかったという話を聞きました。代表児童は、学校保健委員会の様子を各クラスへ伝えてくれました。最初は意識してついていたポカポカ言葉が今は自然につかえるようになりよかったです。今後も学校や家庭、地域に広がっていくとよいなと思います。



1年間の保健室利用者数



3月の保健目標 一年間の健康生活をふりかえりましょう



先日、最後の委員会活動がありました。1年をふりかえって、子どもたちは、みんなで協力できたことに喜びを感じていました。自分の思いをしっかりと伝えて、子どもたちが中心となって委員会を運営することができました。学校のみなが健康でいられるためにはどうすればよい

あなたの言葉でつたえる
ありがとう!!



かという視点で委員会の活動を考えることができました。学校全体で取り組んだ「ポカポカレインボー」は子どもたちのアイディアで丸い形の虹にしました。平沼小学校がポカポカ言葉に包まれてあたたかい学校になりました。